

幼児に必要な資質・能力を身につけることをめざして

○基本的な生活習慣 ○コミュニケーション能力 など

幼児期における集団宿泊体験活動のポイント

- ねらいを明確にし、ねらいを達成できるようなプログラムにしよう
- 幼児の発達段階に応じたプログラムにしよう
- 体験活動が、その場限りのイベントに終わらないよう活動前・活動後も含めた一連の活動プログラムにしよう
- 子どもの自主性を尊重しよう
- 安全対策や幼児の健康状態に配慮しよう

いろいろな体験活動を組み合わせて実施しよう

- ◆季節、自然環境のよさを生かした体験活動（自然体験活動）
- ◆基本的な生活習慣の定着を図る体験活動（生活体験活動）
- ◆異年齢や異世代の交流を図る体験活動（交流体験活動）
- ◆困難な体験、不自由な体験を意図的に与え、我慢して乗り越えさせる体験活動（困難体験活動）
- ◆物の製作や、料理をつくる体験活動（生産体験活動）
- ◆子どもたちが自由に楽しめる遊びを取り入れた体験活動（遊び体験活動） 等

地域で取り組む体験活動

- ◆地域の人に指導者やボランティアとして協力してもらい一緒に取り組もう
- ◆アンビシャス広場など地域の活動の場を活用して取り組もう
- ◆PTAや社会教育関係団体等地域の組織と一緒に取り組もう
- ◆地域の社会教育施設（青少年施設、公民館、その他幼児が宿泊可能な施設）を活用して取り組もう

幼児期における集団宿泊体験活動に取り組もう

体験活動は、長期間で、宿泊を伴う活動の方がより効果的です

自然体験・生活体験・社会体験など様々な体験活動が必要です

最近の子どもたち

- 基本的な生活習慣の欠如 ●コミュニケーション能力の低下
- 自制心や規範意識の不足 ●学びに対する意欲・関心の低下 等

背景

- 少子化、核家族化、都市化、情報化等社会の急速な変化 ●人間関係の希薄化

